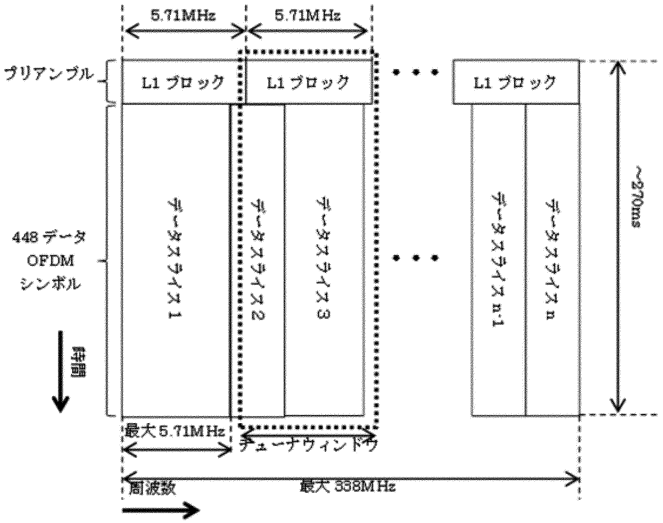
7　ＰＩＤは、ペイロードのデータがＴＬＶデータであることを識別するために使用するものとする。

8　先頭ＴＬＶ指示は、ＴＬＶパケット開始インジケーターが‘1’の場合にペイロードの先頭１バイトに設定されるものとする。この場合において、先頭ＴＬＶ指示の値に１を加えた値は、先頭ＴＬＶ指示に続く分割ＴＬＶパケットのペイロードにおける先頭ＴＬＶパケットの開始位置までのバイト数を示す。

9　ＴＬＶパケット開始インジケーターが‘0’の場合は、先頭ＴＬＶ指示を挿入しない。

**別図第五**（第11条第３項第３号関係）




高度有線テレビジョン放送システム（デジタル有線テレビジョン放送方式であって搬送波の変調の型式に直交周波数分割多重変調を用いるものをいう。以下同じ。）の伝送帯域の構成

注１　高度有線テレビジョン放送システムフレームは、最大338メガヘルツ幅とする。

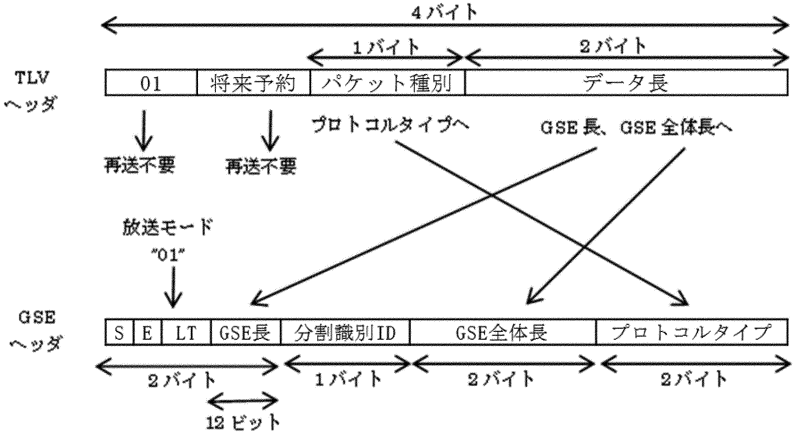
2　プリアンブルは１シンボル以上からなる領域であり、各データスライスの数やその伝送パラメータ情報を含むＬ１ブロックにより構成されるものとする。

3　Ｌ１ブロックは０メガヘルツから5.71メガヘルツ周期で同じＬ１ブロック信号が繰り返し伝送されるものとする。

4　データスライスは448シンボルからなるものであり、最大5.71メガヘルツ幅とする。直交周波数分割多重変調を用いる伝送信号を構成するＴＳパケット及びＧＳＥパケットは、Ｌ１ブロックの伝送パラメータ情報を元にデータスライスを適切に処理した後に出力されるものとする。

5　高度有線テレビジョン放送システムフレームの構成は、総務大臣が別に告示するところによるものとする。

**別記**　ＴＬＶパケットヘッダからＧＳＥパケットヘッダへの変換




注１　「0x」に続く数字を16進数とする。

2　‘　’で囲まれた数字は、２進数とする。

3　Ｓは開始インジケーターを表す１ビットであり、‘1’の場合はＧＳＥパケットの開始とベースバンドフレーム完了を示す。

4　Ｅは終了インジケーターを表す１ビットであり、‘1’の場合はＧＳＥパケットの終了とベースバンドフレーム完了を示す。

5　ＬＴはラベルタイプインジケーターを表す２ビットであり、ＧＳＥヘッダ後に付加するラベルのサイズやタイプを示す。‘00’の場合は６バイトのラベル領域が存在しフィルタリングに用いられることを示す。‘01’の場合は３バイトのラベル領域が存在しフィルタリングに用いられることを示す。‘10’の場合はラベル領域がなく、全受信機が本ＧＳＥパケットを処理する必要があることを示す。‘11’の場合はラベル領域がなく、前パケットのラベルをそのまま流用することを示す。

6　ＧＳＥ長はＧＳＥパケットの長さを表す12ビットであり、ＧＳＥパケットのバイト長を整数で表す。なお、ＧＳＥ長は最大4095バイトまでの設定となるため、4096バイト以上のパケットは4095バイト以下のサブパケットに分割の上、ＧＳＥヘッダにその情報が付加される。

7　分割識別ＩＤはパケットを分割してＧＳＥパケット化する場合にそのサブパケットの識別子を表す８ビットである。分割しない場合には分割識別ＩＤ領域は使用しない。

8　ＧＳＥ全体長は分割した複数サブパケットを全て集めた場合のバイト長を表す16ビットである。分割しない場合にはＧＳＥ全体長領域は使用しない。

9　プロトコルタイプはＧＳＥパケットに含まれる信号のプロトコルタイプを表す16ビットであり、次表のとおり。

| ＴＬＶパケット種別 | ＧＳＥプロトコルタイプ |
|---|---|
| 0x01（IPv４パケット） | 0x0800 |
| 0x02（IPv６パケット） | 0x86DD |